

設甲の1

設 計 書 用 紙

第 号

令和6年度

事 業 名

入善町公共下水道事業
入善処理分区第342工区工事 請負 設計書

課 長

係 長

設 計

精 査(副主務)

設 甲 の 2

設 計 書 用 紙

工 事 名	入善町公共下水道事業 入善処理分区第342工区工事	施 工 箇 所	入善町 入膳外 地内		
路 線 名 等	国道8号線、農道	種 別	補 助 (国 ・ 県) 、 単 独		
工 事 概 要	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>○ 入膳地内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開削工 PRPφ150 L=19.00m ・ その他 1式 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>○ 福島地内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共マス 1箇所 ・ その他 1式 </td> </tr> </table>			<p>○ 入膳地内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開削工 PRPφ150 L=19.00m ・ その他 1式 	<p>○ 福島地内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共マス 1箇所 ・ その他 1式
<p>○ 入膳地内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開削工 PRPφ150 L=19.00m ・ その他 1式 	<p>○ 福島地内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共マス 1箇所 ・ その他 1式 				
予 定 工 期					
予 算 科 目					
設 計 金 額					
内 訳		補助事業分	円		
		単独事業分	円		

入善町公共下水道事業 入善処理分区第342工区工事 特記仕様書

第1条 総則

1. 適用範囲

- イ. 本仕様書は、入善町公共下水道事業 入善処理分区第342工区工事の施工に関する一般的事項を示すものである。
- ロ. 工事は、富山県公共工事標準請負契約約款、土木工事共通仕様書、その他関係法規及び規準に基づくとともに、設計書、図面及び本特記仕様書に基づいて施工しなければならない。
- ハ. 契約条件が別に定められた場合には、本特記仕様書と重複する部分については、本特記仕様書が優先するものとする。

2. 監督員

- イ. 監督員とは、当該工事の担当を命ぜられ、工事施工を監督指示または承認を行う住まい・まちづくり課員をいう。
- ロ. 本工事に関する請負人からの通知、連絡、報告などはすべて監督員が受けるものとする。

3. 指示承認

- イ. 指示承認は、監督員が承認してその効力を発するものとする。
- ロ. 監督員が承認した事項でも、その責任は請負人に帰属するものとする。
- ハ. 設計書、図面及び証書に関する疑義は、すべて監督員の指示または、承認によるものとする。

第2条 一般的事項

1. 工事着手にあたり契約書、仕様書、本特記仕様書を熟読し理解すること。

2. 現場代理人は工事現場に常駐し、工事及び現場の管理に当たること。

3. 保安施設の完備

- イ. 施工に際し、警察署及び監督員の指示に従い「工事標識」、「道路標識」、「迂回路の表示」、「工事看板」、「工事協力のお願看板」、「バリケード」、「赤ランプ」、「信号機」、「黄色回転板」等を設置すること。
- ロ. 歩行者及び車輛の交通安全を確保するため、必要に応じて保安要員を配置し、通行の誘導を図ること。
- ハ. 危険箇所には「バリケード」、「赤ランプ」を設置し、夜間は赤ランプだけでは暗いので、白熱電球を所々につける等、道路の交通及び保安に支障のないようにしなければならない。
- ニ. 現場代理人の不在時に関係者以外の立ち入りによって、事故等の起きないように柵を設置する等、事故防止に努めること。(保安施設は、風等で転倒しないように設置すること。)
- ホ. 毎日作業終了後、現場代理人は保安施設を点検し、夜間の事故防止に努めること。

4. 施工の際、第三者に損害を与えないように注意する。

- イ. 作業中に作業員の過失や不注意、安易な判断から第三者に被害を与えぬよう注意すること。
- ロ. 工事施工によって、あらかじめ危険と思われる家屋・塀垣・側溝等の事前調査を行い、破損、ひびわれ、かたがり等があればポール、箱尺、スケール等をあて、施工前の状況を写真により記録しておくこと。

5. 付近住民の出入りに支障のなきよう施工し車庫・駐車場・商店・ガソリンスタンド等の出入りする箇所は相手方と打合せの上施工すること。また、必要に応じて請負者は、仮駐車場を準備し、付近住民の自動車等の駐車場所を確保すること。

6. 工期の厳守

工期内には、出来高管理図、書類整理等全て完了していなければならないが、この期間も考慮し、十分余裕をもった計画をたてること。

7. 地下埋設物の各管理者と連絡をとり打合せの上、既設管の位置を確認し、施工をすること。

8. 緊急時体制の確立

- イ. 夜間、休止時及び、休日における連絡先は、事前に監督員に報告すること。
- ロ. 2班以上で工事を実施する場合、または2つ以上の工区が近接して工事を行う場合は、緊急時(災害時)に備えて対応できるよう協議しておくこと。

- ハ. 消火栓については絶えず使用できるよう管理すること。
- ニ. 天気予報等により気象状況を把握し異常気象による気象の急変及び現場状況により、作業を中止し安全対策を図ること。

9. 用地の使用

- イ. 無償貸与以外の民有地等を利用する土地の借り上げ・補償などは、すべて請負者の負担と責任において行うものとする。

10. 官民との協力

- イ. 請負者は工事の施工に先だって監督員と協議のうえ、施工方法及び期間等につき、地元住民にあらかじめ十分な説明を行い、迷惑を及ぼさないようにしなければならない。
- ロ. 請負者は工事中、関係官公署その他取締機関に対しては、緊密な連絡をとり十分協調を保つとともに工事現場に関係のある個人に対しても親切を旨としなければならない。

11. 補償及び災害扶助

- イ. 本工事の施工に伴い、施工中はもちろんのこと竣工後といえどもその保障期間中において付近の住民その他対外的に被害を与えた場合は、遅滞なく監督員に届け出て適切な処置を講ずること。
- ロ. この際に要する費用は、事由を明確にしたうえで負担者を決定する。ただし、次のような場合は、請負人においてすべて補償等を行うことを原則とする。
 - ①工事に関連して生じた直接被害に対する補償。
 - ②施工中従業員の過失、不注意によって生じた一切の損害
 - ③従業中における負傷若しくは、死亡者に対する補償。
 - ④工事用交通路の被害に対する補償。(砂利、土砂の散布及び排水の作業を含む。)
 - ⑤工事用排水並びに放水のための被害に対する補償。

12. 工事検査

- イ. 中間検査及び竣工検査にあたっては、請負者または、現場代理人及び主任技術者は必ず立ち会わなければならない。
- ロ. 竣工検査合格後及び、保証期間に手直しをする箇所、または不完全な(漏水を含む)箇所が発見されたときは迅速に無償で補修しなければならない。
- ハ. 請負人は、検査の方法について異議を申し立てることはできない。

13. 工事記録写真

- イ. 撮影場所
 - ①工種別の施工前・中・後の写真は、同一方向から対比できるように撮影する。
 - ②起終点の明確なものは、ポール、スケール等を立て、位置・寸法表示を行う。
位置としては、測点毎及びマンホールの間中点とする。
 - ③不可視部分については、竣工後確認できるよう充分留意のうえ撮影する。
- ロ. 写真の種類
 - ① 原則としてカラー撮影とする。
 - ② サイズはサービス版の大きさを標準とする。
 - ③ 写真帳の大きさはA4アルバムとする。

14. 設計変更

- イ. 請負人の責により生じた工事量の増加に伴う設計変更は認めない。
- ロ. 特に必要と認めた時に限り設計変更をする。

15. 工区間協議

- イ. 近接している工区については、付近住民の交通体系及び、緊急時の体制を考慮して、工事区間の区割り、工事日程等の連絡を密に協議すること。

第3条 工事施工前に関する事項

1. 試験掘について

イ. 監督員の指示があれば試験掘を行うこと。

2. 地下水位に関する事項

イ. 監督員の指示があれば、付近住民の井戸水の水量又は、水位を観測すること。

第4条 工事に関する事項(細部に関する事項)

1. 土工

イ. 計画深さまでバックホウにて掘削した後、人力にて入念に掘削面の整正を行うこと。

ロ. 床掘り最下部を掘り取る場合は、過掘りしないように十分注意すること。

ハ. 過掘りになった部分が生じた場合は、切込砕石にて置換土をし、十分に締固めなければならない。

ニ. 掘削時に地下水が出てきた場合には、ポンプで排除しながら行うものとする。

ホ. 埋戻し土の締固め度が90%以上に保たれるよう施工管理を行う。

埋戻しは良質土にて行うものとするが、現場発生土が良質でない場合は、監督員と協議のうえ使用するものとする。

県道の路体盛土については、CBR値10以上のものを使用する。(試験成績を一箇所提出する)路体盛土については、以下の通りとする。

※一層の仕上厚さ……………H=30cm

投入：バックホウ(0.28 m³、0.35 m³、0.60 m³級)

敷き均し：人力

転圧：タンパ

路床盛土については、以下の通りとする。

※一層の仕上厚さ……………H=20cm

投入：バックホウ(0.28 m³、0.35 m³、0.60 m³級)

敷き均し：人力

転圧：タンパ

ヘ. 埋戻し材については再生砕石を使用しても可能である。(県道占用工事においては埋戻し材RC-40を使用すること)ただし透水性の確保(例えば10%通過粒径(D10)が1mm以上)や締固め度の確保(締固め度90%以上)に留意すること。

ト. 埋戻しの突き固めにあたっては、構造物に変化を与えないように注意しなければならない。

2. 管布設工

イ. 本管及び取付管の接合は次の要領で行う。

①接合部の清掃……受口内面(受口奥部まで)及び差口外面(ゴム輪から管端まで)をウエスで拭き、砂や泥等をとる。

②ゴム輪の確認……ゴム輪が正確に挿入管の端面から第2番目と第3番目のリブの間に納まっているか確認する。もし、ゴム輪がねじれていたり、はみ出している場合は、ゴム輪を外し、溝及びゴム輪を拭いてから再装着する。

ゴム輪接合の機能から、受口、ゴム輪、差口の間には土砂、ごみなどの異物があつたり外傷があつたりすると、水密性が低下するので注意する。

ゴム輪は、仕様により方向性等の規制があるので装着時に確認する。

③標線の確認……標線記入位置は、呼び径150の場合、管端より第6番目と第7番目のリブの間、呼び径200以上の場合は、管端より第5番目と第6番目のリブの間であることを確認する。

④挿入機の取付……差込みに挿入機を使用する場合は、あらかじめ差し口側及び受口側にワイヤロープを巻きつけておき、差込み作業の下準備をしておく。

⑤滑剤の塗布……ゴム輪接合用滑剤をゴム輪外面及び受口内面に均一に刷毛で塗布する。滑剤は、硬質塩化ビニル管専用滑剤を使用する。

グリス、油等は、ゴム輪を劣化させるので使用してはならない。

- ⑥管の挿入………基礎上に接合する管を静かに設置する。管軸を合わせ、挿入機を用いて差し口を標線まで差込む。ただし、呼び径300以下は、てこ棒を用いてもよい。また、基礎上にベニヤ板や塩ビ板等の薄い板を置き、その上に管を置いて接合してもよいが、その場合、接合終了後、必ず板を取り去る。管軸が合っていない場合は、挿入が困難となるので正確に合わせる。たたき込みなど衝撃的な力を加えると破損の原因になるため、行ってはならない。

ロ. 土留工内の砂(碎石)の巻き立て寸法は、十分に余裕を持ったものとし、埋戻時に構造物に影響を与えない被りまで巻き立てるものとする。

ハ. 作業開始前に規準高の点検、確認をし、作業を始めること。

ニ. 管布設時は、破損、ひび割れ等の生じないよう丁寧に施工すること、なお、破損、ひび割れ等の生じた管は、絶対に使用してはならない。

ホ. 管の一部を切断する必要がある場合は、カッター切断とし、他に損傷を与えてはならない。

3. マンホール工

イ. マンホール間の区間距離及び種別の変更をする場合は、監督員の承認を得なければならない。

ロ. インパートは、綺麗な円弧型に仕上げ折線上にしないこと。また、両側のスリ付け(エプロン部)勾配は20%に上げること。また、上下流の管底が10cm以上の場合は10cmに、10cm未満の場合はそのまま管底をスリ付け半円形に仕上げる。

ハ. マンホール内におけるタラップ(タラップ付の蓋受枠も含む)の位置は、原則として下流側とする。但し、本管径が350mm以上の場合は道路路肩側とする。現場状況により判断し難い場合は、監督員と協議すること。

4. 公共マス設置工

イ. 公共マス設置にあたっては、設置位置要望書をもとに設置権利者の意見を尊重して技術上の助言等を行い、内容については設置権利者に再確認すること。

ハ. マスの深さ、数量に変更が生じた場合は、監督員と協議すること。

5. 舗装復旧工

イ. 下層路盤は、クラッシャーランにて均一且つ入念に仕上げるものとする。

※一層の撒き出し厚さ……H=15cm以下

敷き均し：人力

転 圧：タンパ

上層路盤は、粒度調整碎石(農道はクラッシャーラン)にて均一且つ入念に仕上げるものとする。

※一層の撒き出し厚さ……H=15cm以下

敷き均し：人力

転 圧：タンパ

表層は、密粒度 AC13～20FA または、密粒度 AC13～20FH にて施工するものとする。

※仮復旧 敷き均し：アスファルトフィニッシャー

転 圧：振動ローラ

※本復旧 敷き均し：アスファルトフィニッシャー

転 圧：マカダムローラ、タイヤローラ

ロ. 舗装の復旧に当たっては、路盤を十分に転圧した後、すみやかに舗設するものとし、工事引渡し後、保証期間内に沈下陥没等が発生した場合は、請負者がその責任を負うものとする。

ハ. マンホール付近の復旧には、蓋を損傷しないよう保護板をあてるなどの対策をすること。

6. 土留工

- イ. 土留工法は、任意仮設とし工法の変更については、監督員の承認を得るものとする。
- ロ. 土留工は作業員の生命の安全と掘削以外の道路及び地下埋設物への影響並びに第三者被害防止のため全区間設置すること。
- ハ. 矢板打込み及び引抜き時の振動は、付近の構造物に影響を与えない範囲で十分注意して行うこと。
- ニ. 土留工の組立解体作業は、交通に支障なきよう、十分留意するとともに、必要に応じ誘導員を配置しなければならない。

第5条 建設リサイクル法の対象建設工事

1. 本工事は、建設工事に係る資源の再資源化等に関する法律(以下建設リサイクル法という)の対象建設工事であり、特定建設資材について分別解体等・再資源化等を実施するものとする。
2. 請負者は、建設リサイクル法12条に基づき、施工計画書に以下の内容を明記し、監督員へ説明するものとする。
 - ・解体工事である場合は、解体する建築物の構造
 - ・新築工事等である場合は、使用する特定建設資材の種類
 - ・工事着手の時期及び工程の概要
 - ・分別解体等の計画
 - ・解体工事である場合は、解体する建築物等に建設資材の量の見込み
3. 本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。
ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

(1)分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法	工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)
	(1)仮 設	仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	(2)土 工	土工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input checked="" type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	(3)基 礎	基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	(4)本体構造	本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	(5)本体付属品	本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	(6)その他 ()	その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

(2)再資源化等をする特定建設資材廃棄物の種類及び処理量

特定建設資材廃棄物の種類	処理量
コンクリート塊(有筋)	—m ³
コンクリート塊(無筋)	数量総括表による
アスファルト塊	数量総括表による

コンクリート塊は、径 30cm 程度に破砕するものとする。

4. 請負者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督員に報告する。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン(富山県土木部)(平成14年6月)」に定めた様式1[再生資源利用計画書(実施書)]及び様式2[再生資源利用促進計画書(実施書)]を兼ねるものとする。
 - ・再資源化が完了した年月日

- ・再資源化をした施設の名称及び所在地
 - ・再資源化に要した費用
5. 請負者は、再資源化施設において適正に処分されていることが確認できる書類(マニフェスト等)を監督員に提示するとともに、運搬、処理を委託する場合は、産業廃棄物処理業者との委託契約書を監督員に提示するものとする。

第6条 環境に配慮した公共工事の推進

1. 騒音、振動を防止することにより、住民の生活環境を保全する必要があると認められる区域においては「建設工事に伴う騒音振動対策指針」により技術的な対策を施すものとする。
2. 工事区間の地域住民に対しては、施工時期、施工方法、通行制限等必要な事項の事前説明を十分に行い、トラブル防止や住民の安全確保に努めること。
3. 「環境に配慮した公共工事手順書」に基づき、工事着手前後に環境配慮(計画・実施)書を作成し、監督員に提出するものとする。

第7条 安全対策

工事の施工にあたり、警備業者に交通誘導警備業務を実施させる場合は、その場所ごとに公安委員会が実施する検定に合格した、交通誘導警備業務に係る一級又は二級検定合格警備員を一人以上配置するものとする。

第8条 工法協議

1. 請負者は、自らの創意工夫により推進工法等の工法変更(工事目的物の変更を伴うものを含む。)を希望する場合は、変更内容を示す図面を添えて監督員に協議することができるものとする。
この場合、次の条件を満足しなければならない。
(1) 工事目的物が当初設計と同等以上の機能、品質を有していること
(2) 工期に支障を与えないこと
2. 請負者は、監督員が工法変更について承諾した場合には、これに係る設計図面の変更及び出来高管理を要する数量等の変更を請負者の責任において行い、監督員に提出し承諾を得るものとする。
3. 発注者は、前項において提出された設計図面及び数量の変更の承諾をした場合には、これを設計図書として取り扱うものとする。
4. 本条に基づいて行う工法変更に対しては、原則として請負金額の変更は行わないものとする。

第9条 舗装切断作業時に発生する排水の処理

舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収し、適正に処理すること。当該排水の処理に関し、排水量に変更が生じた場合、受注者は排水量等を取りまとめの上、監督員と協議を行い契約変更の対象とする。

第10条 工事書類の簡素化の試行について

- (1) 本工事は、工事書類の簡素化を目的とした試行対象工事である。
- (2) 試行は、工事書類の簡素化試行要領(案)(平成30年4月富山県土木部)に基づき実施するものとする。
- (3) これらに定められていない場合は監督員と協議するものとする。

第11条 施工箇所が点在する工事の積算

本工事は施工箇所が点在する工事であり、本工事における共通仮設費及び現場管理費については、対象地区毎に算出した金額とする。

第12条 週休2日工事（発注者指定型（現場閉所））

1. 本工事は、月単位の週休2日（現場閉所）に取り組むこととする。
2. 工事の実施にあたっては、富山県『「週休2日工事」試行要領（令和6年4月 富山県土木部）』中「4.1 発注者指定型（現場閉所）の場合」に準拠するものとする。ただし、「【4.1.3 工事完成後】」は適用しない。

第13条 その他

その他、定めがない事項について疑義が生じた場合は、その都度監督員と協議するものとする。

施工箇所別設計書

(入膳地内)

入善処理分区第342工区工事 数量計算表

(入膳地内)開削 L=19.0m

(補助分)

NO. 1

工種・種別	細 別	設 計 数 量	積 算 数 量
土工(本管及び取付管)			
舗装版切断工	アスファルト		m
舗装版切断工	コンクリート	19.00*2=38.00	38 m
舗装版直接掘削・積込工	アスファルト		m ²
舗装版直接掘削・積込工	コンクリート	1.05*19.00=19.95	20 m ²
バックホウ床堀	0.35m3級	17.96	18 m3
機械掘削	〃	13.97	14 m3
砕石基礎工		2.00+4.75=6.75	7 m3
埋戻工	発生土	13.05	13 m3
埋戻工	RC-40	11.77	12 m3
土砂等運搬	月山 L=3.5km	17.96+13.97-13.05/0.9=17.43	17 m3
整地	残土受入地での処理		m3
構造物取壊・運搬	無筋		m3
殻運搬	As,Co	1.05*19.00*0.10=2.00	2 m3
舗装切断排水運搬費		1.00	1 式
小型マンホール撤去工	(塩化ビニル製)	1.00	1 箇所
※処分費等※			
公共用残土仮置場(搬入)	月山 L=3.5km	17.96+13.97-13.05/0.9=17.43	17 m3
アスファルト殻処理工	上飯野 L=5.7km		m3
コンクリート殻処理工	上飯野 L=5.7km	1.05*19.00*0.10=2.00	2 m3
As舗装切断排水	富山市八尾町田中		m3
Co舗装切断排水	富山市八尾町田中	1.00	1 m3
管布設工			
リップ付硬質塩化ビニル管布設	PRP150	19.00	19 m
マンホール用可とう止水継手	PRP150用		箇所
キャップ	PRP150用	1.00	1 箇所
土留工			
建込簡易土留工(建込工)	H=2.0m	19.00	19 m
建込簡易土留工(引抜工)	H=2.0m	19.00	19 m
建込簡易土留工(建込工)	H=2.5m		m
建込簡易土留工(引抜工)	H=2.5m		m
建込簡易土留工(建込工)	H=3.0m		m
建込簡易土留工(引抜工)	H=3.0m		m
建込簡易土留賃料	H=2.0m	2.00*19.00*2=76.00	76 m ²
建込簡易土留賃料	H=2.5m		m ²
建込簡易土留賃料	H=3.0m		m ²
公共マス取付管設置工			
公共柵設置工(マルチタイプ)	H=1.50m以下		箇所
公共柵設置工(マルチタイプ)	H=1.50m以上		箇所
取付管布設工	φ100		箇所
マンホール可とう継手	φ100		箇所
土間コンクリート工	t=10cm		m ²

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数 適用単価 適用単価地区 単価適用年月日 諸経費体系	0001 入善町役場 実施設計書 当初 0 1 実施単価 11 入善地区 0-06.07.15(0) 1 公共		
前払率 諸経費工種 労務費補正 電力区分 施工地域区分 寒冷地区区分 緊急工事区分 契約保証区分 現場環境改善費 週休2日工事補正 消費税率 (%)	当 世 代 18 下水道 (2) 01 割増なし 02 臨時低圧電力 12 補正無し 01 補正なし 00 通常 03 補正なし 00 計上しない 21 月単位(R6~) 10	前 世 代	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費									X1000	
補助分									Y1101	
開削工L=19.0m	1			式					工種	第0001号表
直接工事費										
運搬費									Z0004	
仮設材等運搬費（往復） 製品長12m以内	7.6			t					S3107	0 A=2, B=1, C=10, D=1 施工 第0-0020号表
仮設材等の積込み、取卸し費 往復分	7.6			t					S3108	0 A=3 施工 第0-0021号表
共通仮設費 （率分）										
共通仮設費計										
純工事費										

本工事費内訳表

	費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場管理費							
現場管理費計				式			
工事原価							
一般管理費等							
工事価格				式			
消費税等相当額							
請負対象工事費				式			
工事価格計							
消費税等相当額計				式			

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
請負対象工事費計						

工種明細表

開削工L=19.0m

工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
土工 (本管及び取付管)									Y210101	
	1			式					工種 第0002号表	
管布設工									Y210102	
	1			式					工種 第0003号表	
土留工									Y210103	
	1			式					工種 第0004号表	
舗装工									Y210106	
	1			式					工種 第0005号表	
単位当り										
	1			式						

工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
舗装版切断 コンクリート舗装版	38		m						SP4028 0 A=2, C=1, E=1 施工 第0-0001号表	
舗装版破碎 コンクリート舗装版 障害等 無し	20		m ²						SP4027 0 A=2, B=1, C=1, D=4, F=1 施工 第0-0002号表	
床掘り 土砂 施工方法 平均施工幅1m以上2m未満	18		m ³						SP2010 0 A=1, B=2, C=1, D=1 施工 第0-0003号表	
機械掘削（バックホウ） バックホウ クレーン1次排対	14		m ³						S6801 0 A=4, B=1 施工 第0-0004号表	
碎石基礎工（再生碎石RC-40） バックホウ0.35級	7		m ³						V13003 0 施工 第0-0005号表	
機械投入埋戻工 発生土	13		m ³						S6807 0 A=4, B=4 施工 第0-0007号表	
機械投入埋戻工 再生碎石 RC-40	12		m ³						S6807 0 A=4, B=2, C=1.2 施工 第0-0009号表	
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	17		m ³						SP2002 0 A=1, B=3, C=1, D=1, I=5 施工 第0-0010号表	
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下)	2		m ³						SP2081 0 A=3, B=3, C=1, J=4 施工 第0-0011号表	

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装切断排水運搬費 2tダンプトラック運搬	1	式			S5099 0 A=1, B=0.1, C=44, E=58, F=1, G=1 施工 第0-0012号表
小型マンホール撤去工（塩化ビニル製） 起点および中間形式 2m以下 本管径150mmおよび200mm	1	箇所			V0173 0 施工 第0-0013号表
処分費等					#0044
公共用残土仮置場（搬入）	17	m3			TST13 0
コンクリート廃材処理費	2	m3			TCM90 0
Co舗装切断排水	1	m3			TCC02 0
単位当り	1	式			

工種明細表

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
リブ付硬質塩化ビニル管設置工 市場単価方式 呼び径 150mm	19	m			S6992 0 A=1, B=2, C=1, D=1 施工 第0-0014号表
キャップ 見積	1	個			W0001
単位当り	1	式			

工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
建込簡易土留工 建込工	19		m						S6821 A=2.0 0 施工 第0-0015号表	
建込簡易土留工 引抜工	19		m						S6822 A=2.0 0 施工 第0-0016号表	
建込簡易土留材賃料 H=2.00m	76		m ²						V1001 A=2, B=1.0 0 施工 第0-0017号表	
単位当り	1			式						

工種明細表

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
砂利舗設工(人力) 再生碎石RC-40 敷砂利厚10cm	20	m ²			V0018 0 施工 第0-0018号表
単位当り	1	式			

施工内訳表

SP4028

施工 第0-0001号表

[名称] 舗装版切断		[規格1] コンクリート舗装版		[規格2]		1	m	当り
機械構成比: 4.91%		労務構成比: 45.05%		材料構成比: 50.04%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 1,096.7
代表機材規格			構成比	単価	代表機材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ			3.32%		コンクリートカッタ			M2002
その他(機械)					その他(機械)			EK009
特殊作業員			15.63%		特殊作業員 東京単価			R2005
土木一般世話役 一般施工			8.04%		土木一般世話役 東京単価			R2008
普通作業員			6.77%		普通作業員 東京単価			R2006
その他(労務)					その他(労務)			ER009
ダイヤモンドブレード 径56cm			47.42%		コンクリートカッタ (ブレード) 東京単価 径22インチ			T3663
ガソリン JIS2号レギュラ			1.77%		ガソリン 東京単価 レギュラー スタンド			T3004
その他(材料)					その他(材料)			EZ009
積算単価					積算単価			EP001
A=2 E=1	コンクリート舗装版 全ての費用				C=1	15cm以下		

施工内訳表

SP4027

施工 第0-0002号表

[名称] 舗装版破碎		[規格1] コンクリート舗装版		[規格2] 障害等 無し		1	m2	当り
機械構成比: 9.20%		労務構成比: 82.23%		材料構成比: 8.57%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 176.64
代表機労材規格			構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
バックホウ賃料			9.20%		バックホウ (クローラ型) 東京単価 山積0.45m3 (平積0.35m3)			T7275
土木一般世話役 一般施工			29.42%		土木一般世話役 東京単価			R2008
特殊運転手			28.07%		運転手 (特殊) 東京単価			R2002
普通作業員			24.74%		普通作業員 東京単価			R2006
軽油 (パトロール)			8.57%		軽油 東京単価 パトロール給油			T3002
積算単価					積算単価			EP001
A=2	コンクリート舗装版				B=1	障害等 無し		
C=1	騒音振動対策 不要				D=4	15cm以下		
F=1	積込作業 有り							

施工内訳表

SP2010

施工 第0-0003号表

[名称] 床掘り		[規格1] 土砂		[規格2] 施工方法 平均施工幅1m以上2m未満		1	m3	当り
機械構成比: 21.49%		労務構成比: 63.32%		材料構成比: 15.19%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 266.56
代表機	労材規格	構成比	単価	代表機	労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
バックホウ賃料	クローラ型 [後方超小旋回型] 山積 0.45m3(21.49%		バックホウ (クローラ型)	東京単価 [後方超小旋回型] 山積0.45m3 (平積0.35m3)		T7255	
特殊運転手		63.32%		運転手 (特殊)	東京単価		R2002	
軽油	(パトロール)	15.19%		軽油	東京単価 パトロール給油		T3002	
積算単価				積算単価			EP001	
A=1	土砂			B=2	平均施工幅1m以上2m未満			
C=1	土留方式 無し			D=1	障害 無し			

施工内訳表

[名称] 機械掘削 (バックホウ)		[規格1] バックホウ		[規格2]		1	m3	当り
名称・規格など	数	量	単位	単価	金額	備考		
土木一般世話役 一般施工			人			R2008		
普通作業員			人			R2006 補助的作業(床均し等)		
バックホウ運転 (クレーン機能付) (機-1)			時間			S1320		
諸雑費	1		式			#90		
1m3当り			m3			+00		
単位当り	1		m3					
A=4 バックホウ				B=1 岩石補正なし				

V13003

施工内訳表

施工 第0-0005号表

頁0-0015

[名称] 砕石基礎工 (再生砕石RC-40)		100	m3	当り	
[規格1] バックハウ0.35ㄱ級					
[規格2]					
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
砕石基礎工 市場単価方式 機械施工	100	m3			S6994 施工 第0-0006号表
再生砕石 RC-40	120	m3			T4090
合計	100	m3			
単位当り	1	m3			

S6994

施工内訳表

施工 第0-0006号表

頁0-0016

[名称] 砕石基礎工 [規格1] 市場単価方式		[規格2] 機械施工				1	m3	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
砕石基礎設置 機械施工	1.00	m3			TH878			
単位当り	1	m3						
A=2 C=1	機械施工 時間的制約無		B=2 D=1	10m3未満 標準(昼間)				

施工内訳表

[名称] 機械投入埋戻工 [規格1] 発生土		[規格2]				100	m3	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
土木一般世話役 一般施工		人			R2008			
普通作業員		人			R2006 バックホウ投入補助+タンパ締固補助			
バックホウ運転 (クレーン機能付) 1次基準排対 (機-1)		時間			S1320			
タンパ締固め	100.00	m3			SP2015	施工 第0-0008号表		
諸雑費	1	式			#90			
合計	100	m3						
単位当り	1	m3						
A=4 バックホウ			B=4 発生土					

施工内訳表

SP2015

施工 第0-0008号表

[名 称] タンパ締固め		[規格 1]		[規格 2]		1	m3	当り
機械構成比: 1.31%		労務構成比: 96.83%		材料構成比: 1.86%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 1,487.2
代表機労材規格	構成比	単 価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考			
タンパ賃料	1.31%		タンパ及びランマ 東京単価 質量60~80kg		T7285			
特殊作業員	51.85%		特殊作業員 東京単価		R2005			
普通作業員	44.98%		普通作業員 東京単価		R2006			
ガソリン JIS2号レギュラ	1.86%		ガソリン 東京単価 レギュラー スタンド		T3004			
積算単価			積算単価		EP001			

施工内訳表

[名称] 機械投入埋戻工 [規格1] 再生砕石 RC-40		[規格2]		100	m3	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考	
土木一般世話役 一般施工		人			R2008	
普通作業員		人			R2006 バックホウ投入補助+タンパ締固補助	
再生砕石 RC-40	120.00	m3			T4090 埋戻し用	
バックホウ運転 (クレーン機能付) 1次基準排対 (機-1)		時間			S1320	
タンパ締固め	100.00	m3			SP2015	施工 第0-0008号表
諸雑費	1	式			#90	
合計	100	m3				
単位当り	1	m3				
A=4 バック材 C=1.2 土量変化率			B=2 再生砕石	RC-40		

施工内訳表

SP2002

施工 第0-0010号表

[名称] 土砂等運搬		[規格2] 土砂(岩塊・玉石混り土含む)		1	m3	当り
[規格1] 標準		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 997.58		
機械構成比: 46.25%	労務構成比: 38.07%	材料構成比: 15.68%				
代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
ダンプトラック	46.25%		ダンプトラック		M1450	
一般運転手	38.07%		運転手(一般) 東京単価		R2015	
軽油 (パトロール)	15.68%		軽油 東京単価 パトロール給油		T3002	
積算単価			積算単価		EP001	
A=1 標準			B=3	バックホ山積0.45m3(平積0.35m3)		
C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む)			D=1	DID区間 無し		
I=5 3.5km以下						

施工内訳表

SP2081

施工 第0-0011号表

[名称] 殻運搬				1	m3	当り
[規格1] 舗装版破碎		[規格2] 機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下)				
機械構成比: 45.57%	労務構成比: 37.51%	材料構成比: 16.92%	市場単価構成比: 0.00%	標準単価:	2,778.7	
代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
ダンプトラック	45.57%		ダンプトラック		M1450	
一般運転手	37.51%		運転手(一般) 東京単価		R2015	
軽油 (パトロール)	16.92%		軽油 東京単価 パトロール給油		T3002	
積算単価			積算単価		EP001	
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間 無し			B=3 機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下) J=4 6.5km以下			

施工内訳表

[名称] 舗装切断排水運搬費 [規格1] 2tダンプトラック運搬		[規格2]				1	式	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
ダンプトラック運転 (機-22)		日			S1032			
単位当り	1	式						
A=1 当初 C=44 舗装版切断延長 1 (m) F=1 DID区間なし			B=0.1 アスファルト又はコンクリートの切断平均深さ t (m) E=58 片道運搬距離 L (km) G=1 良好					

施工内訳表

[名称] 小型マンホール撤去工 (塩化ビニル製)						1	箇所	当り
[規格1] 起点および中間形式			[規格2] 2m以下 本管径150mmおよび200mm					
名称・規格など	数	量	単位	単価	金額	備考		
小型マンホール工 深さ2m以下 本管径150および200	0.5		箇所			TH291		
単位当り	1		箇所					

施工内訳表

[名称] リブ付硬質塩化ビニル管設置工				1	m	当り
[規格1] 市場単価方式		[規格2] 呼び径 150mm				
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考	
リブ付硬質塩化ビニル管設置工 呼び径 150mm	1.00	m			TH870	
単位当り	1	m				
A=1 呼び径 150mm C=1 時間的制約無			B=2 20m未満 D=1 標準(昼間)			

施工内訳表

[名称] 建込簡易土留工		[規格1] 建込工		[規格2]		10	m	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
バックホウ運転 (機-1) 2次基準排対		時間			S1320			
土木一般世話役 一般施工		人			R2008			
特殊作業員		人			R2005			
普通作業員		人			R2006			
諸雑費	1	式			#90			
合計	10	m						
単位当り	1	m						
A=2 掘削深 (m)								

施工内訳表

[名称] 建込簡易土留工 [規格1] 引抜工		[規格2]				10	m	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
トラッククレーン賃料		日			S5326			
土木一般世話役 一般施工		人			R2008			
特殊作業員		人			R2005			
普通作業員		人			R2006			
諸雑費	1	式			#90			
合計	10	m						
単位当り	1	m						
A=2 掘削深 (m)			B=0	クレーン賃料補正係数				

V1001

施工内訳表

施工 第0-0017号表

頁0-0027

[名称] 建込簡易土留材質料 [規格1] H=2.00m		[規格2]				1	m ²	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
建込簡易土留材質料 H=2.00m		供用日			W2002 建設物価p. 819, 積算資料p. 297			
1 現場当り修理費及び損耗費 H=3.50m以下	1	使用回			W2011			
単位当り	1	m ²						
A=2 供用日			B=1 供用回					

V0018

施工内訳表

施工 第0-0018号表

頁0-0028

[名 称] 砂利舗設工 (人力)		100	m ²	当り	
[規格1] 再生碎石RC-40		[規格2] 敷砂利厚10cm			
名称・規格など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
再生碎石 RC-40	10.6	m ³			T4090
基面整正	100	m ²			SP2012 施工 第0-0019号表
合計	100	m ²			
単位当り	1	m ²			

施工内訳表

SP2012

施工 第0-0019号表

[名称] 基面整正			1 m2 当り		
[規格1]			[規格2]		
機械構成比: 0.00%		労務構成比: 100.00%		材料構成比: 0.00%	
				市場単価構成比: 0.00%	
				標準単価: 446	
代表機材規格		構成比	単価	代表機材規格(東京地区)	
普通作業員		100.00%		普通作業員 東京単価	
積算単価				積算単価	

施工内訳表

[名 称] 仮設材等運搬費 (往復) [規格1] 製品長12m以内	[規格2]	1	t	当り	
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運賃	1.00				T7000
単位当り	1	t			
A=2 往復 C=10 片道運搬距離 (km)			B=1 製品長12m以内 D=1 割増無し		

施工内訳表

[名称] 仮設材等の積込み、取卸し費 [規格1] 往復分		[規格2]				1	t	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
積込み、取卸し費 (仮設材等) 片道分 (基地→現場)	1.00	t			K0121			
積込み、取卸し費 (仮設材等) 片道分 (現場→基地)	1.00	t			K0122			
単位当り	1	t						
A=3 往復分								

機 労 材 集 計 表

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	K0121	199		7.6	積込み、取卸し費（仮設材等）	その他機械損料
2	K0122	199		7.6	積込み、取卸し費（仮設材等）	その他機械損料
3	K2541	198			タイヤ損耗費及び修理費	消耗品費
4	M1021	191			ダンプトラック	運搬機械等損料
5	M1450	191			ダンプトラック	運搬機械等損料
6	M2002	193			コンクリートカッター	路盤舗装等損料
7	MH140	190			バックホウ	掘削積込機損料
8	MHH107	190			バックホウ	掘削積込機損料
9	R2002	18			特殊運転手	特殊運転手
10	R2005	11			特殊作業員	特殊作業員
11	R2006	12			普通作業員	普通作業員
12	R2008	25			土木一般世話役	一般土木世話役
13	R2015	19			一般運転手	一般運転手
14	T3002	66			軽油	軽油
15	T3004	65			ガソリン	ガソリン
16	T3663	198		0.38	ダイヤモンドブレード	消耗品費
17	T4090	52		24.92	再生砕石	クラッシュラン
18	T7000	1		7.6	運賃	測量用材料
19	T7041	44			トラッククレーン賃料	建設機械賃料
20	T7255	190			バックホウ賃料	掘削積込機損料
21	T7275	190			バックホウ賃料	掘削積込機損料
22	T7285	44			タンパ賃料	建設機械賃料
23	TCC02	189		1	Co舗装切断排水	投棄料
24	TCM90	189		2	コンクリート廃材処理費	投棄料
25	TH291	999		0.5	小型マンホール工 深さ2m以下	その他
26	TH870	200		19	リブ付硬質塩化ビニル管設置工	
27	TH878	200		7	砕石基礎設置	
28	TST13	189		17	公共用残土仮置場（搬入）	投棄料
29	WXXXX	966				
30	WXXXX	968				

管渠土工計算書

340工区(補助)

(1)

管 番 号	管 径	マンホール 番号		土被り		平均掘削深					延長 J	掘削						舗 装 復 旧 厚 み I	埋め戻し土量								残土処理			
		上 流 側	下 流 側	上 流 側	下 流 側	平均 土被り A+B+C	全 体			予 掘			土 留			砕石基礎			機械埋戻(再生砕石)			機 械 埋 戻 し			人 力 床均し J,F	掘削土	Co塊 AS塊 T			
							幅	深さ	素掘り 土量	深さ		土量	深さ	土量	土量	厚み	単位量		土量	幅	厚み	発生土	クラッシャー ラン							
							E-D	N	土量	N1		K3	N2	K2	M	G	P		Q	F	H	L	R							
							m	m	m ³	m		m ³	m	m ³	m	m ³	m		m ³ /m	m ³	m	m	m ³	m ³				m ²	m ³	m ³
166-1	150	-1	-1+24	1.38	1.50	1.44	0.156	0.10	0.10	1.70	19.00	1.05	1.600		0.900	17.96	0.700	13.97	0.10	2.00	0.256	0.250	4.75	1.05	0.654	13.05	11.77	—	—	—
小計										19.00					17.96		13.97		2.00			4.75			13.05	11.77				
小計																														

$H=E-I-G-C$
 $R=(E-C-I-G-H) \times F \times J$
 1.05

管渠数量集計表

工区(補助)

NO. 1

路線番号	管径	延長			直管		止水可とう継手		
		区間長	控除長	管実長	L=4.0m	ブレ-エンド L=4.0m	上流	下流	
		m	m	m	本	本	本	本	本
166-1	φ 150	19.00		19.00	5	---			
	#####					---			
合計		19.00		19.00	5				

路線番号	マンホール番号		延長			直管		止水可とう継手		
	上流	下流	区間長	控除長	管実長	L=4.0m	ブレ-エンド L=4.0m	上流	下流	
			m	m	m	本	本	本	本	本
合計										

φ 100							
φ 150	19.00		19.00	5.00			
φ 200							
φ 250							
合計	19.00		19.00	5.00			

施工箇所別設計書

(福島地内)

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数 適用単価 適用単価地区 単価適用年月日 諸経費体系	0001 入善町役場 実施設計書 当初 0 1 実施単価 11 入善地区 0-06.07.15(0) 1 公共		
前払率 諸経費工種 労務費補正 電力区分 施工地域区分 寒冷地区分 緊急工事区分 契約保証区分 現場環境改善費 週休2日工事補正 消費税率 (%)	当 世 代 18 下水道 (2) 01 割増なし 02 臨時低圧電力 11 一般交通影響有り(2) 01 補正なし 00 通常 03 補正なし 00 計上しない 21 月単位(R6~) 10	前 世 代	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						X1000
管路						Y1A01
土工（本管及び取付管）						Y210101
公共マス、取付管設置工	1		式			工種 第0001号表
付帯工	1		式			Y210105 工種 第0002号表
舗装工	1		式			工種 第0003号表
	1		式			Y210106 工種 第0004号表
直接工事費						
共通仮設費 (率分)			式			
共通仮設費計						

本工事費内訳表

	費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
純工事費							
現場管理費							
現場管理費計				式			
工事原価							
一般管理費等							
工事価格				式			
消費税等相当額				式			
請負対象工事費							
工事価格計							

本工事費内訳表

	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
消費税等相当額計						
請負対象工事費計			式			

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 アスファルト舗装版	12	m			SP4028 0 A=1, B=1, E=1 施工 第0-0001号表
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等 無し	4	m ²			SP4027 0 A=1, B=1, C=1, D=4, F=1 施工 第0-0002号表
床掘り 土砂 施工方法 上記以外(小規模)	4	m ³			SP2010 0 A=1, B=5 施工 第0-0003号表
機械投入埋戻工 発生土	3	m ³			S6807 0 A=3, B=4 施工 第0-0004号表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	1	m ³			SP2002 0 A=2, B=5, C=1, D=1, M=3 施工 第0-0006号表
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(小規模土工)	0.1	m ³			SP2081 0 A=3, B=4, C=1, L=3 施工 第0-0007号表
処分費等					#0044
公共用残土仮置場(搬入)	1	m ³			TST45 0
アスファルト廃材処理費	0.1	m ³			TAK90 0

工種明細表

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
単位当り	1	式			

工種明細表

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ます設置工（塩化ビニル製） 市場単価方式 ます径200mm	1	箇所			S6983 0 A=2, B=2, C=1, D=1, E=2 施工 第0-0008号表
取付管布設および支管取付工 市場単価方式 管径100mm	1	箇所			S6984 0 A=1, B=2, C=1, D=1, E=3, F=1, G=1 施工 第0-0009号表
単位当り	1	式			

工種明細表

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート充填	1	箇所			V1030 0 施工 第0-0010号表
単位当り	1	式			

工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
路盤工（人力施工） 路盤厚10cm 車道 農道：下層路盤	2		m2						S4015 0 A=2, B=10, C=5 施工 第0-0012号表	
路盤工（人力施工） 路盤厚6cm 車道 農道：上層路盤	2		m2						S4015 0 A=2, B=6, C=3 施工 第0-0013号表	
小規模アスファルト舗装（材料費） 表層工 車道及び路肩	4		m2						S4038 0 A=2, B=1, C=3, D=3, E=2 施工 第0-0014号表	
小規模アスファルト舗装（施工費） 施工面積 0<A<10m2	1		箇所						TA001 0	
単位当り	1		式							

施工内訳表

SP4028

施工 第0-0001号表

[名称] 舗装版切断		[規格1] アスファルト舗装版		[規格2]		1	m	当り
機械構成比: 6.05%		労務構成比: 55.50%		材料構成比: 38.45%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 580.65
代表機	材規格	構成比	単価	代表機	材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
	コンクリートカッタ	4.09%			コンクリートカッタ		M2002	
	その他(機械)				その他(機械)		EK009	
	特殊作業員	19.28%			特殊作業員 東京単価		R2005	
	土木一般世話役 一般施工	9.90%			土木一般世話役 東京単価		R2008	
	普通作業員	8.33%			普通作業員 東京単価		R2006	
	その他(労務)				その他(労務)		ER009	
	ダイヤモンドブレード 径56cm	35.21%			コンクリートカッタ (ブレード) 東京単価 径22インチ		T3663	
	ガソリン JIS2号レギュラ	2.19%			ガソリン 東京単価 レギュラー スタンド		T3004	
	その他(材料)				その他(材料)		EZ009	
	積算単価				積算単価		EP001	
A=1 E=1	アスファルト舗装版 全ての費用			B=1	15cm以下			

施工内訳表

SP4027

施工 第0-0002号表

[名称] 舗装版破碎		[規格1] アスファルト舗装版		[規格2] 障害等 無し		1	m2	当り
機械構成比: 9.20%		労務構成比: 82.23%		材料構成比: 8.57%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 176.64
代表機	労材規格	構成比	単価	代表機	労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
	バックホウ賃料	9.20%			バックホウ(クローラ型) 東京単価 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)		T7275	
	土木一般世話役 一般施工	29.42%			土木一般世話役 東京単価		R2008	
	特殊運転手	28.07%			運転手(特殊) 東京単価		R2002	
	普通作業員	24.74%			普通作業員 東京単価		R2006	
	軽油 (パトロール)	8.57%			軽油 東京単価 パトロール給油		T3002	
	積算単価				積算単価		EP001	
A=1	アスファルト舗装版			B=1	障害等 無し			
C=1	騒音振動対策 不要			D=4	15cm以下			
F=1	積込作業 有り							

施工内訳表

SP2010

施工 第0-0003号表

[名称] 床掘り		[規格1] 土砂		[規格2] 施工方法 上記以外(小規模)		1	m3	当り
機械構成比: 20.81%		労務構成比: 71.39%		材料構成比: 7.80%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 2,046.8
代表機労材規格			構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
バックホウ			20.81%		バックホウ			MHH130
特殊運転手			38.71%		運転手(特殊) 東京単価			R2002
普通作業員			32.68%		普通作業員 東京単価			R2006
軽油 (パトロール)			7.80%		軽油 東京単価 パトロール給油			T3002
積算単価					積算単価			EP001
A=1 土砂					B=5 上記以外(小規模)			

施工内訳表

[名称] 機械投入埋戻工 [規格1] 発生土		[規格2]				100	m3	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
土木一般世話役 一般施工		人			R2008			
普通作業員		人			R2006 バックホウ投入補助+タンパ締固補助			
バックホウ運転 (機-1) 2次基準排対		時間			S1320			
タンパ締固め	100.00	m3			SP2015	施工 第0-0005号表		
諸雑費	1	式			#90			
合計	100	m3						
単位当り	1	m3						
A=3 バックホウ			B=4 発生土					

施工内訳表

SP2015

施工 第0-0005号表

[名 称] タンパ締固め		[規格 1]		[規格 2]		1	m3	当り
機械構成比: 1.31%		労務構成比: 96.83%		材料構成比: 1.86%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 1,487.2
代表機材規格	構成比	単 価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考			
タンパ賃料	1.31%		タンパ及びランマ 東京単価 質量60~80kg		T7285			
特殊作業員	51.85%		特殊作業員 東京単価		R2005			
普通作業員	44.98%		普通作業員 東京単価		R2006			
ガソリン JIS2号レギュラ	1.86%		ガソリン 東京単価 レギュラー スタンド		T3004			
積算単価			積算単価		EP001			

施工内訳表

SP2002

施工 第0-0006号表

[名称] 土砂等運搬		[規格2] 土砂(岩塊・玉石混り土含む)		1	m3	当り
[規格1] 小規模		[規格2] 土砂(岩塊・玉石混り土含む)				
機械構成比: 25.13%	労務構成比: 61.92%	材料構成比: 12.95%	市場単価構成比: 0.00%	標準単価:		1,022.5
代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
ダンプトラック	25.13%		ダンプトラック		M1331	
一般運転手	61.92%		運転手(一般) 東京単価		R2015	
軽油 (パトロール)	12.95%		軽油 東京単価 パトロール給油		T3002	
積算単価			積算単価		EP001	
A=2 小規模			B=5	バックホ山積0.28m3(平積0.2m3)		
C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む)			D=1	DID区間 無し		
M=3 1.5km以下						

施工内訳表

SP2081

施工 第0-0007号表

[名称] 殻運搬		[規格1] 舗装版破碎		[規格2] 機械積込(小規模土工)		1	m3	当り
機械構成比: 19.19%		労務構成比: 71.06%		材料構成比: 9.75%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 2,316.6
代表機労材規格			構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
ダンプトラック			19.19%		ダンプトラック			M1021
一般運転手			71.06%		運転手(一般) 東京単価			R2015
軽油 (パトロール)			9.75%		軽油 東京単価 パトロール給油			T3002
積算単価					積算単価			EP001
A=3 C=1	舗装版破碎 DID区間 無し				B=4 L=3	機械積込(小規模土工) 1.5km以下		

S6983

施工内訳表

施工 第0-0008号表

頁0-0017

[名称] ます設置工 (塩化ビニル製) [規格1] 市場単価方式		[規格2] ます径200mm				1	箇所	当り	
名称・規格など	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
ます設置工 (塩化ビニル製) ます (径200)	1.00		個所					TH242	
単位当り	1		箇所						
A=2 ます径200mm C=1 時間的制約無 E=2 鋳鉄製防護蓋を設置しない				B=2 D=1	5箇所未満 標準 (昼間)				

施 工 内 訳 表

[名 称] 取付管布設および支管取付工 [規格1] 市場単価方式				1		箇所	当り
[規格2] 管径100mm							
名 称 ・ 規 格 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備	考	
取付管布設工および支管取付工 管径100	1.00	個所			TH245		
可とう性支管設置加算額 管径100mm	1.00	箇所			TH002		
単位当り	1	箇所					
A=1 管径100mm C=1 時間的制約無 E=3 上記以外の場合 G=1 可とう性支管を設置する			B=2 5箇所未満 D=1 標準(昼間) F=1 コンクリート製・陶製以外				

V1030

施工内訳表

施工 第0-0010号表

頁0-0019

[名称] コンクリート充填 [規格1]		[規格2]				1	箇所 当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考	
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 人力打設	0.2	m3			SP2082	施工 第0-0011号表	
単位当り	1	箇所					

施工内訳表

SP2082

施工 第0-0011号表

[名称] コンクリート		[規格1] 無筋・鉄筋構造物		[規格2] 人力打設		1	m3	当り
機械構成比: 0.00%		労務構成比: 31.93%		材料構成比: 68.07%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 24,215
代表機労材規格			構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
普通作業員			14.27%		普通作業員 東京単価			R2006
特殊作業員			8.38%		特殊作業員 東京単価			R2005
土木一般世話役 一般施工			7.11%		土木一般世話役 東京単価			R2008
その他(労務)					その他(労務)			ER009
生コンクリート 高炉18- 8-25 W/C≤65%			68.07%		生コンクリート 東京単価 高炉 24-12-25(20) W/C 55%			T4026
積算単価					積算単価			EP001
A=1	無筋・鉄筋構造物				B=4	人力打設		
C=1	高炉18- 8-25 W/C≤65%				E=2	一般養生		
G=2	現場内小運搬 無し				L=1	生コン小型車割増なし		

施工内訳表

[名称] 路盤工 (人力施工)				100	m2	当り
[規格1] 路盤厚10cm		[規格2] 車道				
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考
普通作業員		人			R2006	
再生砕石 RC-40	12.70	m3			T4090	
タンパ運転 (機-23)		日			S1235	
諸雑費	1	式			#90	
合計	100	m2				
単位当り	1	m2				
A=2 車道 C=5 再生砕石 RC-40			B=10 仕上り厚 (cm)			

S4015

施工内訳表

施工 第0-0013号表

頁0-0022

[名称] 路盤工 (人力施工)				100	m2	当り
[規格1] 路盤厚6cm		[規格2] 車道				
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考
普通作業員		人			R2006	
粒調碎石 M30	7.62	m3			T4050	
タンパ運転 (機-23)		日			S1235	
諸雑費	1	式			#90	
合計	100	m2				
単位当り	1	m2				
A=2 車道 C=3 粒調碎石 M-30			B=6 仕上り厚 (cm)			

S4038

施工内訳表

施工 第0-0014号表

頁0-0023

[名称] 小規模アスファルト舗装 (材料費)		[規格2] 車道及び路肩				1	m2	当り			
[規格1] 表層工		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
名称・規格など											
アスファルト合材 再生材入り 密粒度 AC 13FA		0.08		t						T3922	
アスファルト乳剤 PK-3				L						T3019	
単位当り		1		m2							
A=2	表層工				B=1	車道及び路肩					
C=3	舗装厚 (cm)				D=3	密粒度 AC 13FA					
E=2	プライムコート										

機 労 材 集 計 表

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	M1021	191			ダンプトラック	運搬機械等損料
2	M1232	193			ランマ	路盤舗装等損料
3	M1331	191			ダンプトラック	運搬機械等損料
4	M2002	193			コンクリートカッタ	路盤舗装等損料
5	MHH107	190			バックホウ	掘削積込機損料
6	MHH130	190			バックホウ	掘削積込機損料
7	R2002	18			特殊運転手	特殊運転手
8	R2005	11			特殊作業員	特殊作業員
9	R2006	12			普通作業員	普通作業員
10	R2008	25			土木一般世話役	一般土木世話役
11	R2015	19			一般運転手	一般運転手
12	T3002	66			軽油	軽油
13	T3004	65			ガソリン	ガソリン
14	T3019	78			アスファルト乳剤	アス乳剤
15	T3663	198		0	ダイヤモンドブレード	消耗品費
16	T3922	72		0.32	アスファルト合材 再生材入り	密粒13~20F
17	T4026	92		0.214	生コンクリート	生コン 180kg
18	T4050	53		0.1524	粒調砕石	粒度調整砕石
19	T4090	52		0.254	再生砕石	クラッシュラン
20	T7275	190			バックホウ賃料	掘削積込機損料
21	T7285	44			タンパ賃料	建設機械賃料
22	TA001	200		1	小規模アスファルト舗装 (施工費)	
23	TAK90	189		0.1	アスファルト廃材処理費	投棄料
24	TH002	200		1	可とう性支管設置加算額	
25	TH242	200		1	ます設置工 (塩化ビニル製)	
26	TH245	200		1	取付管布設工および支官取付工	
27	TST45	189		1	公共用残土仮置場 (搬入)	投棄料
28	WXXXX	966				
29	WXXXX	968				

取付管土工集計表

(補助分)

No. 1

管 番 号	マンホール 番号		取付管		本 管 側 土 被 り	樹 側 土 被 り	平均土被り		管 外 径	基 礎 厚	舗 装 厚	平均掘削深	土 工 延 長	仮 設 工						舗 装 復 旧 厚 み	埋 め 戻 し 土 量						人 力 床 均 し J-F	残土処理		取付管布設		備 考						
														簡易土留			掘削幅		素掘り		土留予掘り		土留内掘削		機 械 埋 戻 (砂)			機 械 埋 戻 し			掘削土		As塊	掘削深 2.0m 未満	掘削深 2.0m 以上	舗装延長		
	H=2.00 E≦2.0	H=2.50 E≦2.5	H=3.00 E≦3.0	下幅	上幅	深さ E-D	土量	深さ	土量	深さ	土量	厚み	単位置	土量 P・J	厚み E-I-G	発生土 J・F・H ラン	クラッシャー																					
	上 流	下 流	位 置	箇 所 数	X m	Y m	A m	B m	C m	D m	E m	J m	H=2.00 E≦2.0	H=2.50 E≦2.5	H=3.00 E≦3.0	F m	M m	N1 m	K1 m ³		N2 m	K2 m ³	N3 m	K3 m ³	I m	G m		P m ³	Q m ³	H m	O m ³		ラン	S m ²	T m ³	As塊 m ³	掘削深 2.0m 未満	掘削深 2.0m 以上
			1								4.10							3.69									0.71		2.63									
合計			1								4.10							3.69									0.71		2.63									

